



▲どくだみ(どくだみ科)

草全体に悪臭がある。花弁のように見える白い4枚は包で、花はその中央に穂となって咲き黄色。昔からジュウヤクと呼び薬草として知られている。

花期 6~7月

草たけ 20~50cm

生育地 庭, 畑, 草地などの日陰に生える

○包(ほう)

花の下にある変形した葉で、包葉ともいう。

○クコの枝は根元からたくさんでる(束生という)。

枝は細長くなり弓状に曲りたれさがる。



◀くこ(なす科)

茎は根もとから束生、とげ状の小枝がある。花は紫色、果実は紅色に熟し、食べられる。薬草としても知られている。

花期 6~7月

草たけ 50~200cm

生育地 川べり, 土手